

## ギリシャ概況(2018年7月号)

### 1. 内政

- ・1日 ポタミが党会議にて、中道左派グループ「変革運動(KINAL)」からの離脱を賛成97票、反対16票で可決した。
- ・10日 カチアンドニス無所属議員が新民主主義党(ND)への入党を表明した。
- ・12日 ギリシャ国会は、アテネ近郊の選挙区(アテネB区)を分割する旨の選挙法修正案を賛成241票、反対31票で採択した。更に、地方自治体の運営等に関する修正案を賛成150票、反対123票で採択した。
- ・23日 アティキ地方で山火事が発生し、多数の死者及び負傷者が出たほか、広範囲にわたり家屋等が焼失した。
- ・24日 ギリシャ政府はアティキ地方の火災に対応するため、非常事態宣言を発出し、3日間の国喪に服した。
- ・25日 ギリシャ政府は23日に発生した山火事の被災者に対する救済策(①被災した一家庭当たり5千ユーロ(3人以上の子がいる場合は6千ユーロ)、一事業者当たり8千ユーロを支給、②被災者に対する電気料金、各種税金の軽減、③死亡者の二等親以内の親族一名、または配偶者を公的機関で採用、④被災した受験生の大学入学条件緩和)を発表した。
- ・28日 23日に発生した山火事への対策の責任を取り、ランバルー・マラソン市副市長教育文化担当及びツォプラス同市副市長開発担当が辞任した。

### 2. 外政

- ・2日 ミン・ベトナム副首相兼外相がギリシャを訪問し、パヴロプロス大統領、ドラガサキス副首相兼経済・開発大臣、コジラス外相及びヴチス国会議長と会談した。両国外相は外交旅券所持者に対する査証免除に関する合意に署名した。
- ・2~3日 モスコビシ欧州委員経済金融問題等担当がギリシャを訪問し、国会にて演説をした他、パヴロプロス大統領、チプラス首相、ツァカロス財務相、ミツォタキスND党首、イエニマタPASOK党首及びセオドラキス・ポタミ党首と会談した。
- ・4日 チプラス首相が第4回ギリシャ・ブルガリア・ルーマニア・セルビア4か国首脳会合(於:テサロニキ)に出席した。更に本会合と並行して、4か国のインフラ大臣会合が開催された。
- ・10日 チプラス首相が西バルカン諸国首脳会合(於:英国)に出席した。
- ・11日 ギリシャ政府は、ロシアがFYROM名称問題解決の妨害を含む内政干渉を行ったとし、駐ギリシャ・ロシア人外交官2名の追放及び本国在住ロシア人2名の入国禁止を決定した。
- ・11~12日 チプラス首相、コジラス外相及びカメノス国防相がNATO首脳会合(於:ブリュッセル)に出席した。更に本会合マージンにて、チプラス首相はエルドアン・トルコ大統領と会談した。

- ・13 日 コジラス外相が第2回「古代文明フォーラム」(於:ポリビア)に出席した。更に本会合マージンにて、モラレス大統領及びワナクニ外相と会談した。
- ・14 日 カメノス国防相が仏を訪問し、フランス革命記念日の祝賀行事に出席した。
- ・20 日 カメノス国防相がトルコのキプロス侵攻44周年追悼式(於:キプロス)に出席した。
- ・24～25 日 中根外務副大臣がギリシャを訪問し、カトゥルガロス外務副大臣及びミツオタキスND党首と会談した。
- ・27 日 ファノン米国務次官補エネルギー資源担当がギリシャを訪問し、スタサキス・エネルギー大臣と会談した。
- ・31 日 ルメール仏財務相がギリシャを訪問し、ギリシャ及び仏企業経営者らと会合した。

### **3. 移民・難民問題**

本土及び島嶼部での移民収容施設が不足しており、本土における数か所の施設及びレスボス島、ヒオス島、サモス島における施設が超過密状態にある。

6月30日現在 ギリシャに滞在する移民・難民は59,700名(UNHCR発表)。

### **4. 経済**

#### (1) 対ギリシャ第3次支援プログラム

・12 日 ユーログループ(於:ブリュッセル)が開催され、第3次支援プログラムの第4次審査完了によるギリシャへの150億ユーロの融資の実施が承認された。

#### (2) 経済動向

- ・1 日 資本規制緩和(個人の海外送金額の限度額を、現在の2か月当たり2,000ユーロから4,000ユーロに引上げ)が実施された。
- ・20 日 格付け会社スタンダード・アンド・プアーズ社がギリシャの国債格付け評価をBからB+に引き上げ、見通しをポジティブとした。
- ・31 日 IMFがギリシャの債務持続性に関する報告書を発表し、中期的には債務の持続が可能であるとしながらも、中長期的にプライマリーバランス黒字の目標値(2.2%)を維持することは困難である旨指摘した。

#### (3) 財政

ギリシャ財務省が7月24日付で公表した1月から6月の財政統計によると、1月から6月の財政収支は22億9,900万ユーロの赤字、同期間のプライマリーバランスは6億3,500万ユーロの黒字となった。同期間の歳入は219億7,800万ユーロで政府目標1億5,000万ユーロ(0.7増)上回り、歳出は242億7,800万ユーロと政府目標より8億ユーロ低く抑えられた。

#### (4) 輸出入

ギリシャ統計局の8月7日付の発表によると、6月の輸入総額は49億7,570万ユーロ(前

年同月比 27.1%増)、輸出総額は 30 億 530 万ユーロ(前年同月比 24.8%増)となった。

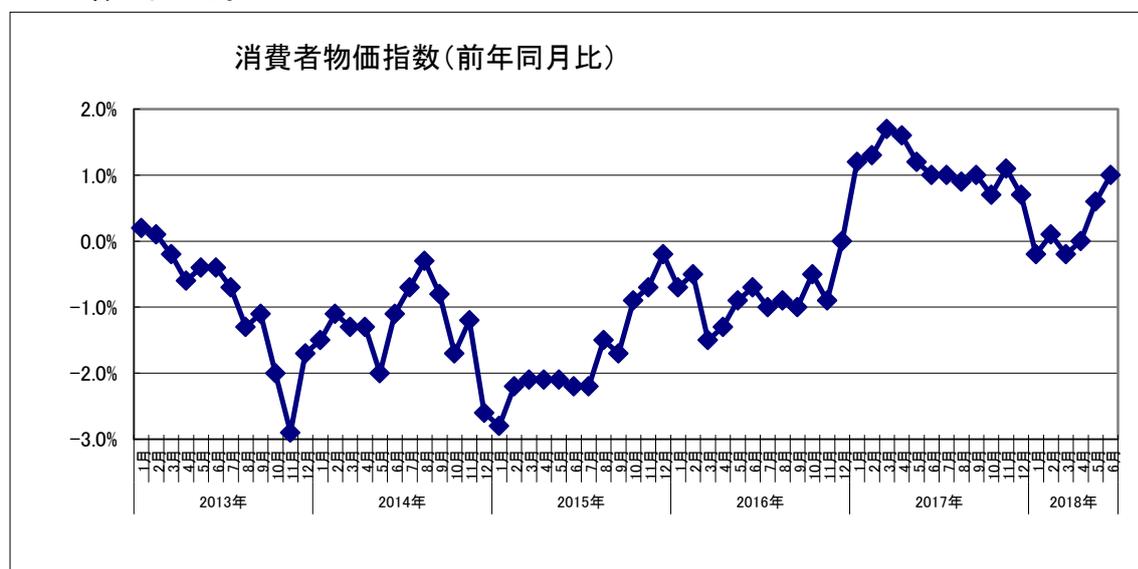
### (5) 観光業

ギリシャ観光業協会(SETTE)の発表によると、4月の観光客は、105万7,766人で、前年同月比11.1%増となった(国内主要空港の観光客到着数(暫定値)ベース)。内訳は、アテネ空港が44万3,432人で(同16.1%増)で、テサロニキ空港が17万2,272人(同8.1%増)となった。

## 5. 経済指標

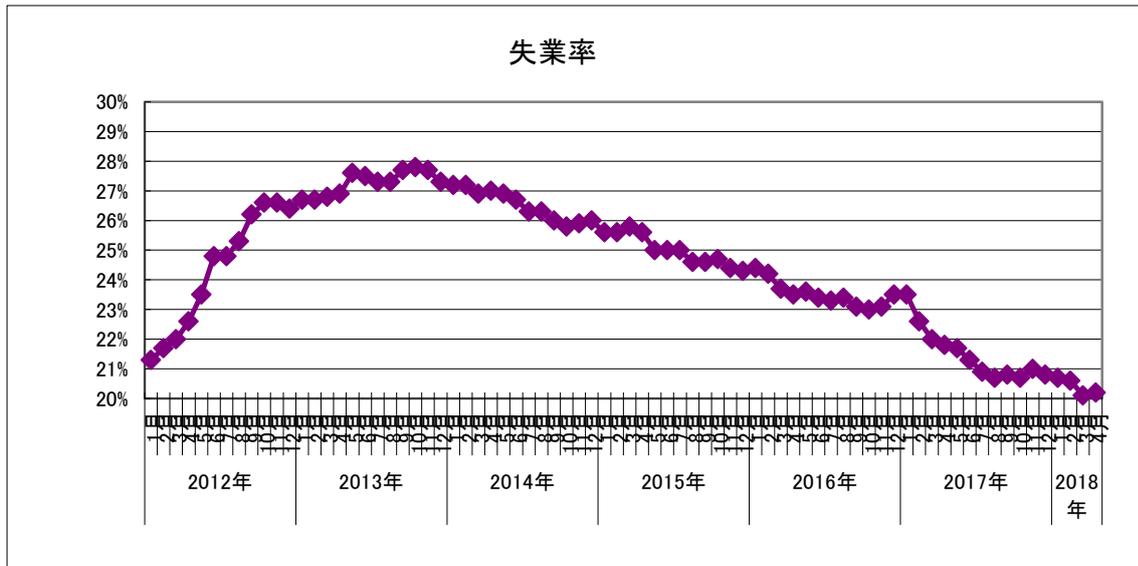
### (1) 消費者物価指数

ギリシャ統計局の7月10日付の発表によると、6月の消費者物価指数は前年同月比1.0%増となった。



### (2) 失業率

ギリシャ統計局の7月12日付の発表によると、4月の失業率は20.2%となり、前月から0.1%増加した。



### (3) GDP

OECD のデータによると、2018 年第 1 四半期(1 月～3 月)の実質 GDP 成長率は前年同期比プラス 2.3%となった。



※この概況は各種報道・公表資料を基に作成した。